

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を周知徹底し共有できる職場環境を目標としてきたため、2/3以上の職員は基本理念を把握できているが、その意味をしっかりと理解し実践できる体制には未だ程遠く、今後も繰り返し理念の本質を伝えていく必要がある。	職員教育を徹底し、理念の本質に基づいた支援を実践できること。	ホーム目標を設定し、基本理念と関連付けできる体制をつくる。朝礼や毎月のミーティングで繰り返し伝えていくことに合わせ、実践できていない職員へは個人目標を設定したり丁寧に指導していく。	12ヶ月
2	4	介護計画を立てるにあたり、利用者の意向や要望が毎回同じ文言になってしまっている。	日々変化する利用者の想いを引き出し、介護計画に盛り込む。	利用者やその家族と引き続き良好な関係を継続していきながら、それぞれの意見や要望をできるだけ細かくプレミーティングノート等へ記載する。	6ヶ月
3	48	未だコロナ禍が収束しない中、大挙して外出ができずストレスに感じている利用者もいる。QOL低下の利用者も見られるため一人一人が張り合いや喜びのある日々を過ごせる環境づくりをしていく必要がある。	変化と刺激のある日常を送る。	外出先で楽しめるように、室内でも歩行運動や筋力維持に向けた訓練を毎日実践する。家族との面会を増やしたり人出の少ない場所や利用者の要望をリサーチし共有する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。